

● 授業計画

1年次

日程			限目 時間	科目	内容	担当者	場所
10月 ～ 2月	毎週	月曜	3限 4限	産業人間工学特論	種々の評価指標を用いて、疲労、メンタルワークロード、ストレス、快適性等のひとの状態を計測する手法を理解する。 さまざまな事故事例を知ることにより、事故の原因が理解でき、その対策の検討ができる。	庄司	6513 6515

2年次

日程			限目 時間	科目	内容	担当者	場所
毎月	第1 第2 第3	金曜	2限	産業人間工学演習	人間工学に係わる世の中の動向を理解し、現代の産業界が抱える人間工学的問題点を理解する。 人間工学領域で取り扱われる種々のデータのデータマネジメントができる。	庄司	6513 6515
				産業人間工学実習	人間工学領域あるいは心理生理学領域で用いられる生体計測機器・システムの取扱に習熟する。また、主観的評価手法とその集計方法について学ぶ。	庄司	6513 6516
毎月	毎週	火曜	2限	産業人間工学論文指導	過去の知見および現在の社会的ニーズ等に基づき、研究テーマの策定ができ、研究計画策定、実験計画策定、実験システムの構築、実験実施、データ解析、論文執筆の一連の流れを理解し、かつ実施できる。	専攻委員長	カンファレンス ルーム